



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	横手市役所
実習期間	平成 30年 2月 19日 ~ 平成 30年 2月 23日
学生氏名	田名部 要
実習プログラム	1日目 歴史まちづくり課業務 2日目 地域づくり支援課業務 3日目 生涯学習課業務 4日目・5日目 増田まんが美術館事業室業務
学び・気づき (300字程度)	この5日間を通して、まちづくりはあらゆる視点から考えられるということに気づくことができた。1日目の歴史まちづくり課では、市の歴史的風致の価値の再認識と保存に努めていることがわかり、町を客観的に見つめることが活性化の手がかりになると思った。3日目の生涯学習課では、実際に地域の料理教室に参加したことで、生涯学習の必要性について学ぶことができた。今回のような交流会を開けば、自然と顔見知りになり、会話も生まれるため、地域の人同士のつながりが強くなると思った。まちづくりには、様々な切り口があるため、その地域の特色を生かせるように、まずは地域について知ることが大事だと感じた。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	今の自分に足りないもののうち、特に次の2つを今後身に付けていきたい。1つ目は、周りを見る力である。言われたことだけでなく、他にも自分にできることはないか、常に考える癖をつけたい。2つ目は、知識量である。幅広いジャンルの本を読むようにして、対応できる内容を増やしていきたい。また、講義などでは疑問をもって考え、理解を深めたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	1つ目は、町の特色を表している課があること。(歴史まちづくり課、増田まんが美術館事業室など) 歴史とまちづくりの組み合わせはあまり聞いたことがなかったので、説明を受けているときは新鮮な気持ちだった。増田町を例にすると、昔ながらの町並みが今も大切にされていて、過去と現在と未来をつなぐものが町にあるのは市としても強みになると思った。2つ目は、四季折々にあわせたイベントや伝統行事、観光資源が豊富であること。「横手市といえば〇〇」というものが沢山あって、特に観光面での可能性が満ちており、うらやましく思った。
写真 (1~3点)	 増田の街並み  料理教室